

令和2年度第3回木更津市国民健康保険事業の運営に関する協議会 質疑応答

議題 1

(3) 医療費適正化対策事業の② 医療費通知について

1. 1年間分の医療費を年4回に分けて通知すると計画していますが、この4回の通知が保険者負担の動向や医療費の適正化、健康に対する認識等について、成果の評価をお聞かせ下さい。(山本委員)

<事務局回答>

1. 医療費通知の成果の評価について

保険者一人当たり医療費を千葉県平均や近隣3市と比較すると、本市は県平均とほぼ同等(若干本市が高い)で、近隣3市より低い状況が続いており、一定の評価はできると考えております。

(参考: 令和元年度一人当たり医療費及び県内市町村順位)

木更津市	341,971 円	29 位
君津市	366,701 円	12 位
富津市	402,859 円	04 位
袖ヶ浦市	354,967 円	21 位
千葉県平均	338,528 円	※県内 54 市町村平均

2. 年4回実施する郵送料が5,623千円の予算を紙ベース等として計上していますが、パソコンやスマホの普及率は桁違いに高くなっている現状から電子データ化(ペーパレス化)することによって、郵送料などの過剰な出費を抑えることで適切なコストカットや様々なメリットが広がります。

一例として、「らづナビ」アプリを利用することによってログイン後、いつでも、どこでも、自由に閲覧などが可能となり確定申告書の添付書類などにも応用できると考えます。(山本委員)

2. 医療費通知のコスト等について

令和3年分の確定申告からマイナポータル(マイナンバー関連サービスの一つ)で医療費の確認、添付データのダウンロードができるよう国が進めておりますので、利便性という点ではそちらの活用を考えております。例として挙げさせていただいた「らづナビ」については、個人ごとの情報管理機能を持っていませんので、残念ながら医療費通知の確認には使用できません。

ハガキによる通知については、マイナポータルでの確認の進捗状況によっては原則廃止ということもあるとは思いますが、今のところコストカットの方法としては年4回の通知を2回や3回に減らすことが考えられます。

令和２年度第３回木更津市国民健康保険事業の運営に関する協議会 質疑応答

６ページの(7)その他の保健事業①短期人間ドックについて

脳ドックについては２年に１回助成していますが疾病の早期発見、早期治療により疾病予防、健康保持の観点から胃の内視鏡検査は２年に１回、大腸の内視鏡検査は３年に１回助成について今後検討を願いたい。(山口委員)

<事務局回答>

脳ドックについては、基本ドックと同一の機会に受診すれば１年度に１回助成対象としています。

本市では他市町村と比較して助成額は高額を維持しており、これ以上の拡充は難しい状況です。

議題２

１．令和２年度当初予算及び３年度に係る積算基礎として、国保加入世帯数と人数を教えてください。(山口委員)

<事務局回答>

令和２年度当初予算時想定	国保世帯数 17,526	被保険者数 27,949 人
令和３年度当初予算時想定	国保世帯数 17,170	被保険者数 27,202 人
最新状況（令和３年１月末）	国保世帯数 18,557	被保険者数 27,898 人

２．令和２年度の当初予算と３年度要求額と比較して歳入・歳出で特に増減の大きいものがあれば教えてください。

<事務局回答>

(歳入)

05款	国民健康保険税	一般現年（医療）	2,716万4千円	減
	国民健康保険税	一般滞繰（医療）	3,532万9千円	減
25款	県支出金	普通交付金	3億7,104万3千円	減
40款	繰入金	財政調整基金繰入金	9,756万3千円	増

保険税は近年、被保険者数が減少傾向にあることから減額といたしました。

県の普通交付金は支出した医療費の保険者負担分に合わせて交付されますが、被保険者数の減少等で医療費総額も減少する見込みであることから減額となっています。

財政調整基金繰入金は、令和３年度国保会計が歳入不足が見込まれるため、その対応として増額となっています。

令和 2 年度第 3 回木更津市国民健康保険事業の運営に関する協議会 質疑応答

(歳出)

1 0 款	保険給付費	療養給付費 (一般)	3 億 4,200 万円	減
	保険給付費	高額療養費 (一般)	2,000 万円	減
1 4 款	国民健康保険事業費納付金			
	一般被保険者医療給付費分		2,100 万 9 千円	減
	介護納付金分		1,510 万 9 千円	増

保険給付費は医療費の保険者負担分であるため、被保険者数の減少等で医療費総額も減少する見込みであることから減額となっています。

国民健康保険事業費納付金は、千葉県全体の保険給付費に必要となる額を各市町村の被保険者数や所得に応じて配分したもので、各市町村が県に納めるものですが、被保険者数全体は減少傾向にあるため医療給付費分は減少し、40 歳以上の被保険者数が増加しているため介護納付金分は増額となっています。

3. 新型コロナに係る歳入、歳出があれば教えてください。

<事務局回答>

令和 2 年度は新型コロナの影響で所得が激減した世帯への税減免や、傷病手当金の支援を実施しており、これらへの国の補助といった歳入、歳出がありました。

令和 3 年度は令和 2 年度の所得を基に計算することから、コロナに特化した税減免については予定されておらず、予算計上していません。

また、傷病手当金についても令和 2 年 7 月を最後に申請がないことから、当初予算では計上していません。

議題 3 (質問なし)

議題 4 (次ページ)

令和２年度第３回木更津市国民健康保険事業の運営に関する協議会 質疑応答

議題 4

47 ページの第 8 章後期期間の目標と実施計画について

ストラクチャー指標の中で、保健師、管理栄養士等の人材確保とありますが、木更津市では全体で正規の保健師、管理栄養士は何名の職員がおりますか。そのうち国保会計分の保健師、管理栄養士は何名でしょうか。

また、今後の増員等の計画はあるでしょうか。（山口委員）

<事務局回答>

正規保健師全体 24 名（うち国保会計分 1 名）

衛生行政保健師 18 名 ※地区担当保健師数、
受け持ち人口の計算はこの人数

正規管理栄養士全体 3 名（うち国保会計分 0 名）

市としては全体の定員管理を進めております。

また、保健師 1 人当たりの受け持ち人口は国の望ましい値 5,000 人／1 名に対して約 7,500 人／1 名です。

近隣市と比較しても最も受け持ち人口が多いため、毎年度担当課からは増員要求していますが、実現していない状況のため、引き続き要望していきます。

その他の補足事項

今回の資料送付後に、令和 3 年度の職員給与の地域手当が 5 %から 3 %に減額する補正予算案が提出されることとなりました。

一般会計からの繰出し金、国保特別会計の人件費がそれぞれ 240 万 6 千円減額となります。